## ◇ 松 医 会 の ペ ー ジ ◇

―信州大学医学部同窓会―

平成21年４月，大学院医学系研究科保健学専攻に新たに博士後期課程が設置されました。これに伴い，平成19年４月に設置された大学院修士課程は博士前期課程へ発展しました。今回は，保健学専攻に設置された二つの区分制博士課程について報告します。

### １．博士前期課程

本課程は，科学的根拠に基づいた保健・医療・福祉分野の専門的知識・技術の確立と，高い倫理観のもとにこれらを提供できる高度専門保健医療職者の育成を目指して，「看護学分野」，「検査技術科学分野」，「理学・作業療法学分野」の３分野で構成されている（表１）。

１）看護学分野：看護教育，母子看護，地域・在宅看護，国際看護の教育研究が行われ，看護倫理の追求と看護実践ができる人材を育成する。さらに，母子看護，在宅看護では専門看護師（CNS）の養成コースが開設されている。

２）検査技術科学分野：分子レベルから臓器レベルまでの高度な知識と技術をもとに，生体やそれを取り巻く環境に由来する病因・病態の新たな検査技術，医療機器，医薬品の開発にも役立つ教育研究が進んでいる。

３）理学・作業療法学分野：理学療法，作業療法領域および両者の基盤となる機能障害領域で基礎から臨床にわたる教育・研究が行われている。また，各分野で国際的に活躍できる人材の育成も目指している。

### ２．博士後期課程

本課程は，保健学の確立と発展に寄与し，学際的な研究成果を世界に発信できる人材，保健・医療・福祉分野の教育・研究者，保健医療職者に対して質の高い臨床研究指導ができる人材等の養成を目標としている。本課程の特色の一つとして，人のライフステージ区分に基づいた保健学の在り方を研究する「生涯保健学分野」とその科学的基礎について研究する「医療生命科学分野」の２分野で組織編成されていることが挙げられ，これは系統的な研究体制を構築することを目的としている。「生涯保健学分野」は人のライフステージに応じた保健学の在り方についての教育・研究を行うことを目的として，母子保健学，成人保健学，老年保健学の３領域に区分し，また，「医療生命科学分野」は医療生命科学領域の１領域で構成している（表２）。

これらの保健学専攻博士前期課程と博士後期課程による一貫教育は，保健医療の学問体系を構築する上で多くの利点をもつものと考えられる。定員はそれぞれ14名，４名で，今年度は19名，９名が入学した。今後，高度保健医療専門職者の教育を推進して保健医療の学問体系を構築し，社会に貢献することが望まれる。

（文責　松医会理事　保健学科　本郷　実）

表１　博士前期課程構成

| 専攻 | 分野 | 領域 |
|---|---|---|
| 保健学専攻<br>博士前期課程 | 看護学 | 看護教育学<br>母子看護学<br>地域・在宅・国際看護学 |
| | 検査技術科学 | 病因・病態検査学 |
| | 理学・作業療法学 | 理学療法学<br>機能障害学<br>作業療法学 |

表２　博士後期課程構成

| 専攻 | 分野 | 領域 |
|---|---|---|
| 保健学専攻<br>博士後期課程 | 生涯保健学 | 母子保健学<br>成人保健学<br>老年保健学 |
| | 医療生命科学 | 医療生命科学 |